

2026年度 酪農学研究科 修士課程 第1期入学試験問題
(選択： 野生動物学)

【出題の意図】

問1.

本科目を選択する受験者は、これまで野生動物学や生命環境科学に関連する分野を学んできた者、その他自然科学系の分野を学んだものと想定される。幅広い分野の受験生が、自分の得意分野の研究・分析内容を十分に発揮して小論文が書けるような出題をした。とはいえ野生動物に関連する知識を問うことが必要であるので、今回は「特定外来生物」についての概要を説明し、その基本的な調査方法や、分布の評価方法について述べる内容とした。修士課程では論文の執筆、研究の発表などが多く想定されることから、小論文形式の出題とし、基本的な文章作成の技能や論理的思考についても評価を行った。

問2.

動物において広く認められる性的二型について、それが生じた進化的メカニズムを雌雄それぞれの競争という観点から要因別に例を挙げて説明するものである。特に性選択と自然選択との相違について、きちんと定義から捉える必要がある。さらに、そのような進化が種多様性の創出にどのように関わるかを自ら考えて論述することで、多様性を生み出すメカニズムについて整理する課題になっている。